

第6回 教育推進プラン・江東策定委員会 会議録

日時：令和7年11月5日（水） 17:58～18:56

場所：江東区文化センター5階 第7・8会議室

【会議次第】

- (1) (仮称) 教育推進プラン・江東（第3期）（素案）について
- (2) その他

【出席者】

<委員>（敬称略・順不同）

若林 彰、前島 正明、福山 憲治、吉田 覚、田中弘子、星野 清志、山中 聰、池田
香菜子、大平 千鶴、川倉 祐美

<理事者>

教育長 本多健一朗、教育委員会事務局次長 青柳幸恵、庶務課長 瀧澤慎、企画課長 小
林愛、総務課長 保谷俊幸、スポーツ振興課長 鳴川裕三、青少年課長 篠崎 修、こども
家庭支援課長 松村浩士、養育支援課長 桑畠 麻未、学校施設課長 西尾基宏、学務課長
瀧川久輝、指導室長 金指大輔、教育支援課長 木内苗津子、地域教育課長 大田修一、江
東図書館長 吉木一浩、深川図書館長 梅村英明、第五砂町小学校校長（小学校長会代表）
小林英忠、第三砂町中学校校長（中学校長会代表） 福田克彦、みどり幼稚園園長（幼稚園
長会代表） 貞方功太郎

【欠席者】

<委員>向井 真幸

【議事概要】

○委員長

定刻前ではございますが、皆さまおそろいになりましたので、始めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は第6回の策定委員会となります。

すっかり寒くなってきて、木枯らし一号が吹いたということで、急に冬がやって來たと言いますか、学校ではインフルエンザは大丈夫でしょうか。報道では過去最高とも出ていますけれども、皆様もどうぞお体にはお気を付けて、よろしくお願ひできればと思っています。

事務局から連絡事項はございますか。

○庶務課長

本日のご欠席の連絡についてですが、向井委員よりご欠席の連絡をいただいております。

また、池田委員と大平委員は、本日ご都合によりオンラインでのご参加となっています。

以上です。

○委員長

ありがとうございます。オンラインでご参加の池田委員、大平委員、聞こえますでしょうか。何かありましたら、途中でお声がけください。よろしくお願ひいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきたいと思います。

まず、議題1「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)素案について」です。事務局からよろしくお願ひいたします。

○庶務課長

本日の議題は1件となっています。「(仮称)教育推進プラン(第3期)素案について」、ご説明をさせていただきます。

初めに、資料1をお願いします。前回の委員会におきまして、プランの中心にあたる分野別計画についてご協議をいただきました。本日は、いただいたご意見を踏まえた修正と、前回ご提示できていなかった分野別計画以外の部分、前段もしくは資料編について作成いたしましたので、ご報告いたします。

資料1の「1. 概要」、「2. 素案のポイント」でございますが、こちらは前回の委員会でお示ししたとおりの内容です。今回素案を策定したこと、また素案のポイントとして4点あげています。

続きまして、素案本編の説明に移りたいと思います。別紙1、冊子となっていますA4横ホッチキス留めの資料と、資料2「（仮称）教育推進プラン・江東（第3期）素案（分野別計画）の修正点について」の2つをご参照いただければと思います。前回の委員会でお示しました素案の分野別計画に、資料2のとおり修正および追加をいたしました。また、委員の皆様からいただいたご意見については、参考1のとおりまとめておりますので、後ほどご参照いただければと思います。

それでは、別紙1に沿って、順次ご説明させていただきます。まず、全体といたしまして、これまで分野別計画でキーワードとして空欄になっていた箇所に、各ページの施策に関連する「こどもからの意見」、「用語解説」という形で各ページに掲載しています。分野別計画については、デザインを今回変更していますが、今回お示ししたものはあくまでイメージです。より見やすく、手に取りたくなるようなデザイン、レイアウトとなるよう、これから工夫していくたいと思います。今回はイメージとしてご参照いただけばと思います。また、各ページに写真を掲載しておりますが、こちらは、現在「見本」という形でお示ししています。写真も、今後選定していくたいと考えています。

続きまして、内容の各項目についてご説明させていただきます。まず、分野別計画の前段部分として、別紙1をご覧ください。1ページから12ページに、「第1章 教育を取り巻く動き」、「第2章 江東区の教育が目指すもの」と2つの章を掲載しています。1ページから6ページまでが第1章です。初めに、江東区の教育振興基本計画としての教育推進プラン・江東の位置づけ、国および東京都の動き、1ページめくっていただき、江東区の現状についてそれぞれ掲載しています。次の6ページに、江東区子どもの権利に関する条例につい

て掲載しています。続いて、7ページからが第2章になりますが、こちらでは「江東区の教育が目指すもの」として、初めに「江東区教育理念について」、その次に「江東区教育理念の実現に向けた4つのテーマと計画を推進するための視点」という形での掲載となっています。8ページ、9ページの「江東区教育理念について」ですが、こちらは今までご説明しましたとおり、第2期プランから基本的には踏襲しておりますが、9ページをご参照いただきたいのですが、最初に「Vision 目指す姿」として、これまでの第2期になかったこととして、「みんな、かがやく！」というキーワードを新たに定めたところです。「5つの力」については、第2期からの継承となっています。次の「行動指針」の「3つの指針」の1番目ですが、現在使用している用語の状況を踏まえ、第2期プランでは「「生きる力」を育む」「知」「徳」「体」の調和がとれた教育」となっていたところ、今回こちらを「こども主体で「生きる力」を確かに育む教育」と改めたところです。キーワードについては、「ともに」を継承いたしますが、第2期プランでは「With…」という言葉が入っていたものを、ひらがな3文字の「ともに」という形でキーワードを継承します。

次の10ページ、項番2ですが、「江東区教育理念の実現に向けて」という形で4つのテーマ、「学び・育ち」、「自分らしさ」、「環境」、「つながり」をそれぞれ紹介しています。

下段11ページでは、「計画を推進するための視点」を掲げていますが、これまでのご提示では「教育DXの推進」と「ウェルビーイングの向上」という順番でご紹介をしていましたが、子どもの権利、子どもの視点を尊重するということで2つの順番を入れ替え、「子どもの視点からのウェルビーイングの向上」を1項目として掲げています。

12ページをお願いします。こちらは、骨子案でもご協議いただいた内容となっていますが、教育推進プラン・江東第3期の全体の構成、姿という形になっています。

13ページからが分野別計画となります。こちらは前回ご協議いただきましたが、いただ

いたご意見のうち、修正した部分についてご紹介をさせていただきます。

まず、14ページですが、「計画の見方」ということで、凡例を示しています。

以降のページ、テーマ1「学び・育ち」から順に進んでまいります。初めに、大きく変えたところ、追加したところとしまして、各テーマに即した4本のコラムをそれぞれ掲載しています。順にご案内いたしますが、19ページではテーマ1に沿った形で「Challenge Wednesday」の活動について、続いて38ページでは、「学校施設の将来ビジョン」に関するコラム、43ページではコラム「地域学校協働本部とコミュニティ・スクール」について、そして最後48ページに、現在策定中であります「区立図書館ビジョン」について掲載をし、江東区の方針について掲げたところです。

次に、皆様よりご意見をいただき修正した箇所について、ご説明いたします。初めに23ページをお願いいたします。施策17「スポーツに親しむ機会の創出」の2つ目の項目です。前回お示しした際には、ボッチャについての記載をしていましたが、区のスポーツに関する取組との連携についてご意見をいただきましたので、こちらに織り込んだ内容に変更しています。

次に、31ページをお願いします。施策31「スクールソーシャルワーカーの拡充」の1つ目の項目になります。こちらで、こどもを取り巻く多様で困難な問題にも十分対応するため、スクールソーシャルワーカーの「活用」とさせていただいています。前回ご提示した際は「増員」という形でご提案させていただきましたが、単に増員だけではなく、増員も含めた体制の強化ということで、表現を改めております。

次に、41ページをお願いいたします。施策45「コミュニティ・スクールの拡充」です。こちらでは、区立学校全校での導入を進めた上で、地域の特性に応じた特色ある学校作りを行いうという内容に改めています。

以上が、前回ご意見をいただいた内容を踏まえて変更した点です。

49ページ以降は、資料編として付けさせていただいています。昨年行いました意識調査、今年度に行いましたことからの意見聴取の紹介、そして本委員会の構成、最終ページにこれまでの策定経緯について掲載しています。

全体でございますが、第2期プランの継承としまして、詳細な資料などにつきましては、各ページ下部にQRコードを掲載しインターネットで確認できるような形にして、計画のスリム化を図っています。

大変雑駁で恐縮ですが、説明は以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員長

ありがとうございました。前回の素案から、より完成版に近づけたという形でのご提案です。現状と課題や委員会での意見を踏まえて変更もあったとのご説明もありました。ひとつひとつ見ていくと大変ですけれども一緒に見ていきたいと思います。

今回、新しく出ました最初のところの「教育を取り巻く動き」、この辺についてはよろしいでしょうか。ここでどうこうという話ではなく大きな話でございますので、こういう形で掲載されてきたということです。江東区の教育振興基本計画から、国および東京都の動き、それから、江東区の現状として、学力・体力の現状、不登校・いじめの状況など、全体的な話です。特に前回の第2期から大きく変更はなく、よりバージョンアップした形で継承しているというご説明がありました。このあたりにつきましては、いかがでしょうか。ご意見はよろしいでしょうか。

「第2章 江東区の教育が目指すもの」のところはいかがでしょうか。先ほど、「ウェルビーイング」と「DX」の順序を入れ替えたという話がございましたが、この点についてはよろしいでしょうか。どちらも大事ですけれども、ウェルビーイングは包括的な視点になるかと思いますし、デジタル・トランスフォーメーションになりますと、どちらかというとデジタル化のところにつながるターゲットになってきますので、こちらは各論的なところとい

うことでウェルビーイングを最初に持ってきたというお話をございますが、よろしいでしょ
うか。

○教育長

私が、説明を追加させていただきます。今見ていただいている資料の4ページから5ペ
ージの「江東区の現状」のところを見ていただきたいのですが、これまでの教育推進プラ
ン・江東第2期では、江東区の現状は1ページだけでした。「区の年少人口の推移」と書い
てあるところは、これまで「区年少人口の増加」ということで「増加しています」という形
ではあったのですが、今後のことを考えていきますと、推移は減っていく可能性もあります
ので、見方をさらに広くして書いています。それから、子どもの多様化については進んでき
ていますので、言葉を少し変えて「さらなる子どもの多様化」という形にしております。

その下の「学力・体力の状況」と「不登校・いじめの状況」は、これまでこの場所では
なく計画の中に入っていたのですが、やはり子どもの姿を見ていただく方が良いだろうとい
うことで、ここで見ていただく形になっています。今回、令和5年度までのデータですが、
今年度末には令和6年度のデータも入れられるだろうと考えておりますので、今後、そのあ
たりの数値は変わってくると思いますが、ここでは改善というところでお伝えさせていただ
きます。

○委員長

ありがとうございます。教育長からお話をございましたが、4ページ、5ページのところ、
今後、人口が減っていくことも踏まえて、第3期は令和12年度まで使うものですので。そ
れから、第2期では「学力・体力の状況」と「不登校・いじめの状況」については各論の施
策部分に含まれていたのですが、改めてこの部分の掲載になりましたというご説明でした。
この件について、何かご意見はございますか。

話は変わりますが、今学校を建設しているところもあるかと思いますが、人口がやがて減
っていく形になると、どうなるのでしょうか。空き教室という簡単な話から始まって、学校自

体の統合ということも見えてくるのでしょうか。

○庶務課長

今、全国的な傾向として少子化が進んでいる中で、やはり統廃合が大きな話になってきます。江東区の場合、人口住民基本台帳上では緩やかに下がっていくということを示していますが、一方で湾岸地区を中心にマンションなどの大規模な開発が予定されていて、地域によって偏在はしますが、減少人口がまだ横ばいといいますか、一定程度、今後のマンション開発の動向を見ると残っていくということも想定されますので、そういったところも踏まえてということになると思います。一方で、小学校の少子化が進んで子どもが減っていけば統廃合という問題もあるかと思いますが、それは区全体で見ていく必要があろうかと思います。現在、小学校、中学校合わせてかなりの数がありますので、今のところはそこまでには至っていないと考えておりますが、いずれ統廃合についても検討していく時期が来るということを考えております。

○委員長

ありがとうございます。大学もかなり厳しいもので、今度また会議があるのですけれども、常に子どもの少子化の問題が話題になっており、施設の問題もあるので、江東区でもきっと大変なのだろうと思っていますが、このプランは令和12年度までなので、この中では大きなところはないだろうというお話をございますので、この次ではその辺を見据える話が出てくるのかもしれませんと思います。どうもありがとうございます。

学力・体力、不登校・いじめについて、重要な課題ですので、全体の冒頭に出しましたというお話をございました。これについてもよろしいでしょうか。

どうぞ。

○委員

10月29日に問題行動調査の結果が文科省から出ましたが、全体的に増加率が減っている。東京都の場合は下がっている。それで、先ほど教育長にお話を伺ったら、令和6年度の

不登校の数が減ったということで、新規の数も恐らく減っているので、これから減少傾向に行くのではないかと予想しているのですけれども、不登校については、今まで各学校や教育委員会が努力された結果が出てきているので、ぜひその数値も最新のものを載せるとアピールになると思っています。

○委員長

ありがとうございます。教育長どうぞ。

○教育長

実はホットな話題でして、まだ教育委員会にも報告をしてないので、そこで報告をした上で、それまでの間に議会にも報告をしますので、年度末にはしっかりと新たになった数字が、特に不登校・いじめのところについては令和6年度という数字が入ってくると思います。そうなると、文章も変わってくるかと思いますが、そのときには委員会が開かれますので、そこでしっかりと説明していきたいと思っています。

○委員長

ありがとうございます。次回は1月末にございますので、それまでには数字が確定していくということでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、1章につきましてはよろしいでしょうか。

「2章 江東区の教育が目指すもの」でございます。これも基本的に継承されているということですが、9ページのところで説明がございました「みんな、かがやく！」という言葉を、ここで特に大事にしたということです。これは今までずっと出てきた言葉ですが、「みんな、かがやいてほしい」と本当に思いますが、何かございますか。よろしいでしょうか。

それから、3つの指針の中のこども主体というところで、「知」「徳」「体」ではなく、こども主体で「生きる力」ということでまとめましたというお話をございました。「知」「徳」「体」という形は、確かに世の中でも丸められてきているところですが、よろしいでしょうか。キーワードのところでは「ともに」。「with」を取って、平仮名だけにしました。3文

字に分かりやすく、はっきりしたというお話でございます。「with…～とともに～」よりも「とともに」と。「みんな、かがやく！」、そして「とともに」というところかと思いますけれども、これも端的にしましたということです。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、その次に行きますが、先ほどお話をしました4つのテーマについて、ここで説明いただいている。今回のものに合わせてということです。それから、デジタル・トランスフォーメーションの前にウェルビーイングにしたというお話でございます。よろしいでしょうか。では、今回新しく出された1章、2章について、今さっと目を通してくださいました。何かございましたら、後ほど意見シートのほうにお書きいただければと思います。

それでは、第3章、これは今まで見てきたところでございます。かなり具体化して出していただきました。まず、計画の見方というところがあります。そしてテーマ1「学び・育ち」というところでございます。この計画の見方は本紙にも載るわけですね。

○庶務課長

はい。その形で。

○委員長

分かりました。このコトミちゃんは、江東区の方にはおなじみなのですか。

○庶務課長

江東区の観光キャラクターで、着ぐるみも作って区民まつりなどでも大変人気なキャラクターになっています。

○委員長

すみません。存じ上げませんでした。覚えておきます。コトミちゃんですね。学園祭でのうち呼びますね。

それでは、続きまして、本論のほうに入っていきたいと思います。

先ほど、変更があったところ等についてご説明がありました。今まで皆様がお話をいただいたところを確認されたと思いますが、一言一句は見ていけないと思いますので、私がページを開けていきますので、そこで何かありましたらお声をかけていただければと思います。

では、「1 確かな学び」、16、17ページ。事前にご覧になっていただいて、気になるところ、感想等がありましたら言っていただければと思います。「確かな学び」、いかがでしょうか。意識調査等がここに出てきて、現状と課題、そして下側に基本方針と施策、このスタイルが確かに見やすくなっています。写真については今後また検討して、これはイメージということです。よろしいですか。

ページを開いて、ここは施策について2ページにわたっているところでございます。2ページ目、上段が施策でございますけれども、いかがでしょうか。この保幼小連携教育プログラム、これはQRコードで見るようになるわけですね。

○庶務課長

詳細については、ホームページの案内という形で、誘導したいと考えております。

○委員長

今まで、私たちはこのプログラムは見ていましたか。

○庶務課長

前回の計画でも、概要という形で同じようにQRコードでお示ししています。

○委員長

分かりました。改めて確認をしておきたいと思います。

何かございますか。よろしいですか。

では、コラムのところでございます。先ほどご案内がありましたけれども、コラムがいくつかあるということで、これは「Challenge Wednesday」ということで、水曜日に教員の働き方改革まで含めて色々やっていこうというお話です。いかがですか。江東区ならではの、私もこれはここに載せるべき内容だなと思っているところです。よろしいでしょうか。

では、続いて20、21ページでございます。「2 豊かな心」のところです。いかがでしょうか。

成果指標のところで、よく話題になっていました。「いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童・生徒の割合」の目標値は100%。よろしいでしょうか。

目標値、達成できるのではないかなと思っておりますが、100%を目標として達成していく。各学校で、また、幼稚園で、それぞれのご指導があると思いますが、100%の目標に向けて、何か学校ではございますか。このいじめの問題については、幼稚園では今まであまり話題になったことがないのですが、幼稚園ではいかがですか。小さい子たちですから、深刻なところではないかと思いますが、何かそのような芽のようなものがあって、何かご指導いただいたとか、どうでしょうか。何かご指導されて苦労されているところとかはございますか。

○幼稚園長会代表

幼稚園では、やはりいじめがないということはない、いじめの芽、これはあり得ると思っています。「こういうことを言ってはいけない」とか「こういうことをしてはいけない」と大人が言うのは簡単ですが、やはり幼児期だからこそお互いの気持ちを言葉で伝え合うとか、このようなことをしたら誰々ちゃんが悲しい顔をしたとか、こういうことを言われたらちょっと心が痛んだなとか、そういった実体験ができるのも幼児期ならではだと思っています。ですので、そういった場を保障しながら、体験を積んでいけるようにとしているところです。また、幼児期の特性としまして、保護者への働きかけが欠かせないと思っています。私は区立幼稚園の代表ですが、毎日の送り迎えで保護者の方と顔を合わせることができます。そういうった幼稚園での経験を、保護者の方と共有をしているところです。

○委員長

ありがとうございます。いじめ問題だと、どうしても小学校、中学校だけに話題が行ってしまいますが、幼稚園でうまく育てていただくというところで、本当にありがとうございます。

では、その中でいよいよ基本方針4 「人権」です。何かございますか。どうぞ。

○委員

本当に大変すばらしい教育プランを策定いただいたて、お礼を申し上げたくて手を挙げさせ

ていただきました。

私は、何度か外見から分からぬ体調不良や病気を抱えるこどもたちも、一人一人みんなががやく江東区の教育を、教育プランの恩恵を受けられるようにといった意見を発させていただきました。この「4 人権」の施策10の「多様性を認め合う教育の推進」のところに「性別や年齢、国籍、文化、障害」、そして「疾病の有無等によらない、インクルーシブ教育の理解促進を図り」というように、病気があるなしに関わらず、この江東区のすばらしい教育を受ける権利があるのだということを記していただいたことを本当に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。もしよろしければ、全般でも、策定いただいた何か想いであつたり背景だったり、今後こうして行きたいといったことがありましたら、お聞かせいただけますでしょうか。

○教育長

ありがとうございます。各委員から様々なご意見をいただいたところを反映したところです。今、委員から言っていたところは、これまで「年齢や性別、国籍の違いや障害の有無に」というところ、そこに「疾病の有無」という言葉を入れさせていただきました。（病気のように外から）見て分からることはたくさんあります。でも、そこにしっかりと想いを寄せていくこと、そこを意識していくことは大事ですので、そういった部分で今回言葉を追加したところです。このインクルーシブという言葉についても、前は障害だけに特化したところがありましたが、そうではなく、多様性というところであつたり、国籍であつたり、そのようなところも含めて言わてきてているところがありますので、広く様々なことに意識をしていくという部分では、改めて言葉を追加させていただいたところです。

○委員

ありがとうございます。そうなのです。今までの教育推進プランを見ると、この病気でお困りの方については、どこの項目を見て、相談や取っ掛かりを持ったらいいのだろうとうことが分からなかつたので、このたび疾病という文言が入りましたので、分かりやすくな

ったと思います。

○委員長

確かにこの疾病という文言が入ってくるということは中々ないことで、非常に江東区の進んだ考えがここに表れたという感じがいたします。また、インクルーシブが、多様化のところで国籍や年齢も全部含めてインクルーシブと、「みんな、かがやく！」というところにつながるという理念がここにもよく表れているのではないかなと思います。

他にいかがですか。よろしいですか。

それでは、続きまして、「3 健やかな体」に入ろうと思います。22ページ、23ページです。ここのページについてはいかがでしょうか。

○庶務課長

23ページ、子どもの意見のところです。2番目のところ、2項目「体育館で遊べるようにしてほし」と「い」が脱字になっています。申し訳ございません。修正をしていただきたいと思います。

この子どもの意見のところで、追加で説明をさせていただきたいのですが、子どもの意見聴取、3つの手法で取りまして、子どもの意見を反映した形での計画策定ということで、ここに子どもの意見の概要、代表的なものを取り上げたところです。実際、3つの手法で様々な子どもからの様々な意見、希望、夢などが語られたところですが、これを一つ一つ計画のどこに反映したということでお示しすることがなかなか難しかったため、今回「子どもの意見」という形で、関連する分野別計画のところに代表的なものをピックアップしたところです。よろしくお願ひいたします。

○委員長

ありがとうございます。「子どもの意見」、右下のところにありますが、これは今までお話をありました3つの手法、子ども議会のところ、子ども教育委員会のところ、それからそれぞれ聞きに行っていただいたところですけれども、その中で出てきた代表的なものを、

例えば「泳げるようになりたい、ダンスがうまくなりたい」、この項目がこれになりますよとまではなかなか示せません。示すことは確かに難しいと思いますので、そういう意味では、大体基本的に当たっているところでご覧いただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、よろしければ次に参りたいと思います。

続いて、24ページ、選定中の「教育すなっぷょっと」。これはどのようなものが載せられる予定か、何かお持ちですか。

○庶務課長

こちらについては、先ほどのそれぞれのページでは該当するのですが、こちらの「すなっぷょっと」という形で仮に入れていますが、第2期でもご提示しましたように、例えば学校の教育現場の中でちょっとしたこどもたちの関係ですとか、なかなか我々が普段学校の中で目にすることのできないような学校での取組内容、こどもたちが生き生きと、先ほども「みんな、かがやく！」ということで今回示しましたが、各学校で撮影した写真を事務局で募集させていただいている。色々な写真がそろっていますので、その中からピックアップして載せていくたいと考えています。

○委員長

ありがとうございます。これは、次はまだ見られませんね。完成するときに、我々は見られることになるということですね。

○庶務課長

そうですね。ぎりぎりまで選定させていただければと思います。

○委員長

それでは、次に参ります。「個に応じた教育」です。26、27ページです。よろしいでしょうか。ここも色々なご意見をいただいたところですが、ニーズに応じたきめ細かな教育支援を行うということです。こどもの意見も載っております。不登校も先ほど出たところかと思います。また、教職員の専門性向上のところでございます。よろしいですか。

では、次まいります。28、29ページでございます。28ページは今のところの施策2

4から25、26とつながるところです。「多様な学びの保障」、「多文化共生」のところです。江東区は、海外の子どもは人数的にはどのくらいいらっしゃるのでしょうか。ざくっとした話で結構なのですが、お願ひします。

○教育支援課長

先ほどの4ページの右下のグラフの通り、外国からの子どもたちの数が増えているのを示すのは、本区の日本語指導を行った児童・生徒の推移です。日本語指導の講師を派遣している本課でいえば、ここの数で把握できるところです。令和6年度が230人ですが、令和7年度についても増えてきています。また、地域的に学校によっては令和6年あたりから、たくさん入学、転入してきているという話も伝わってきています。実際の外国籍の子どものことについては、学務課で把握しています。

○学務課長

令和7年5月1日現在の小学校でいえば全児童に占める5.15%、中学校では全生徒に占める4.3%が外国人という形になっていまして、大まかに言いますと10年前の2倍以上になっている状況です。

○委員長

ありがとうございました。外国の方が増えていくということは、政治の方では色々言われているところもありますが、大変喜ばしいことであったり、グローバル化していく中で「みんな、かがやく！」ところで国籍にかかわらずかがやくというお話でございますので、そういう意味では、丁寧な対応が必要だと思っているところです。

何かござりますか。よろしいですか。

それでは、続きます。「KOTO子どもかがやきプラン」がコラムに出るところです。

「Action 24」もです。

それでは、次に行きます。30ページ、31ページ「丁寧な相談」のところです。ここはいかがでしょうか。先ほどスクールソーシャルワーカーの体制の強化というお話もありまし

たが、増員だけに留まらず、含めて体制を強化していくというお話です。よろしいでしょうか。

では32ページ、また「すなっぷしょっと」です。前の「すなっぷしょっと」とは何か雰囲気を変えるのですか。

○庶務課長

前回はそれぞれのテーマの最後に、例えば教育活動ですとか学校施設とか、それぞれテーマをつけていましたので、今回も色々な写真がありまして、例えばそういったテーマ別に選んでみるということも考えています。

○委員長

分かりました。よろしくお願ひいたします。

それでは、テーマ3「環境」に入ります。施設のところです。施設の整備、先ほど、学校のお話も出ましたが、いかがでしょうか。

やはり臨海部の方は、さらにタワーマンションは建つのですか。

○庶務課長

有明地域では開発工事があるというところで、江東区の場合ですと、大規模マンション関係は事前の相談、届出が条例で決まっていますので、そういったところでの把握、また、最近の傾向ですと地下鉄8号線、有楽町線ができる関係で、新しく駅ができる枝川や千石の新駅周辺で今後開発が想定されるのではないかと見ているところです。

○委員長

ありがとうございます。それに伴って、学校の施設が必要になってくる場合があるのではないかということもあります、よろしいでしょうか。

それでは、次に参ります。何かありましたら、どうぞお話しください。36、37ページです。「安全安心の居場所づくり」です。江東きっずクラブの話が大分出ておりました。子どもたちの居場所というところで、かなり準備をされているということです。よろしいですか。「学校安全の推進」、交通安全等もありますね。よろしいでしょうか。

続きます。38、39ページ、これはコラム、先ほど出ていた「学校施設の将来ビジョン」。最近の学校に行くと、新しくなると私たちも驚いてしまうのですけれども、どんどん進んでいるなというところを本当に感じるところです。

それでは、最後です。テーマ4「つながり」です。

「地域・家庭」です。ここの中では先ほど「コミュニティ・スクールの導入を着実に進め」ということがありましたが、特に江東区ではそれぞれの地域の特性が、深川地区と有明地区が全く違う状況がありますので、それぞれの特性に合わせて、前に教育長からもお話をありがとうございましたが、コミュニティ・スクールもそれぞれの特性に合わせた、そして準備が整った、また特性が合ってきたというところから進めているというお話をしました。一斉にやろうということではなく、それに合わせてというお話をしました。そういう視点でご覧いただければと思っておりますが、コミュニティ・スクールの拡充、家庭教育の支援、部活動のことが載っています。

子どもたちが江東区を誇りに思うというところに非常につながってくる部分かと思いますので、地域と家庭、そして学校が連携していくところだと思います。よろしいですか。では、42ページに参ります。教育機会については、先ほどのつながりでございます。18……、19はどこですかね。

○庶務課長

庶務課長です。すみません。項目が1つずれています。18が「地域や家庭との連携・協働」ですが、次の「教育機会の確保」が19になりますので、以下1項目ずつ、丸数字がずれていきます。申し訳ございませんでした。

○委員長

ここが、19、20というところでご確認ください。19が「教育機会の確保」です。体験活動等ということですね。20が「地域への情報発信」ということです。よろしいですか。皆様のそれぞれのお立場でご意見等ございましたらお話しください。よろしいですか。

コラムがコミュニティ・スクールです。詳しく載っているところです。

次に参ります。44、45ページです。「学校・教員」、先生方のところです。教員の指導力向上と働き方改革、2つは一緒にすることが難しいところになりますが、そこを見事に一緒にしていこうというお話です。中身については、この間ご意見いただいているところでですので、よろしいでしょうか。

では、続きまして、46、47ページの「図書館・大学・企業等」です。図書館については、今、本離れが広がる中で、それぞれ工夫をいただいているところですが、よろしいですか。私はこの図書館をすごく気にしていまして、文化度が見えるものと思っているところです。区民の皆さんのが、図書館、情報センターということで、書籍だけでなく情報がたくさん集まるところだと思っています。ここに区民の皆様が行かれることが非常に重要だらうと感じているところです。23、24、ここで終わりになります。よろしいでしょうか。

ざっと眺めてまいりました。それから、最後にコラムで図書館ビジョンです。48ページのところです。

そして資料に入ります。教育に関する意識調査、こどもからの意見聴取、前回、前々回と話題になったところです。そして、最後が私たちの、この教育推進プラン・江東策定委員会のことです。皆様のお名前がここに載ります。最後のページに、これまでの経緯が載るところです。現在は第6回というところになっています。

ひと通り流してまいりましたが、戻りましてここが、というところがありましたらどうぞ。スタイルがこういう形になるということですけれども、これについてもよろしいですか。

それでは、大体皆さんに見ていただきまして、ご了解いただけたのではないかと思ってます。これで本件を終わらせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、事務局から他にありますか。この後のことについて、お話をください。

○庶務課長

庶務課長です。今後の予定についてご説明です。

初めに、資料1へお戻りいただけますでしょうか。簡単にスケジュールを掲載していますので、ご説明いたします。本日ご意見をいただき、まとめていただいた教育推進プラン・江東（第3期）素案につきまして、これからパブリックコメントを実施いたします。実施期間は12月11日から年を明けて1月9日までを予定しています。周知方法につきましては、区報及びホームページとなっています。また、閲覧場所を決めて、意見提出につきましては、ホームページ、郵送、ファクスでお受けしたいと考えています。

今後のスケジュールです。こちらの最終的なものになりますが、パブリックコメントの実施結果、また計画素案に基づいて、この計画（案）を作成します。令和8年1月28日水曜日に開催を予定しています。詳細が決まりましたら、別途ご案内をいたしますので、よろしくお願いします。

また、お手元にお配りいたしました意見シートです。毎回恐縮ですが、委員の皆様には、この後メールにて様式をお送りいたしますので、本日の会議でご説明した内容につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、11月11日火曜日まで、期間短く恐縮でございますが、事務局までご提出をお願いいたします。

私からは以上です。

○委員長

ありがとうございます。この後パブリックコメントということで、また、委員の皆様からも、改めて気がつかれたとか、言い残したということもありましたら、この意見シートがお手元にありますので、いよいよパブリックコメントで、今度最終になりますが、先ほど教育長のからも、まだ時間があるので直せるところもありますので、何かありましたらどうぞというお話をいただいているので、何かありましたらシートを出していただき、次のところでお話しいただければと思っています。よろしいでしょうか。

それでは、終わりにいたしますが、何かござりますか。

○委員

この教育推進プランはとても写真も多く、写真に一言入れられていて、すごく分かりやすい資料で見やすいなということがあります。その中で、まだ写真は見本なのでこれから選ばれていくと思いますが、こどもたちに質の高い幼児教育で人間の基盤を育てていただいたという経験もあるので、もう少し幼稚園での写真も入るとアピールかつ周知になって、保護者や保育士とか保育園で働いていられる方が見たときに、江東区立の幼稚園はこういうこともしているのだなと見られるタイミングで、周知にもなると思いますので、もしよかつたら幼稚園の本当に素敵な教育をしていただいているので、何か垣間見られる写真を取り入れていただけだと、幼稚園保護者としてうれしいなと思います。よろしくお願ひします。

○委員長

ありがとうございます。ぜひ幼稚園の写真をお載せいただきたいと。教育長、どうぞ。

○教育長

ありがとうございます。とても大事なご意見と思っています。今、幼児教育、特に江東区立幼稚園で目指している部分、そういった育てていきたい資質能力、非認知能力とよく言われていますけれども、注目を浴びているところもありますので、そういったところを上手に表現できるように、写真をうまく工夫して載せられたらと思います。

○委員長

ありがとうございました。それでは、この後まだ何かございましたら、意見シートをお書きいただければと思っております。

いよいよ寒くなつてまいりますので、皆様、どうぞお体に気をつけていただきたいと思っております。それでは、これで第6回策定委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

以上